

(仮称)桑折町歴史観光交流センター 基本設計案 町民説明会 資料



基本設計案の概要をお知らせします

基本設計では、町民アンケート等から昨年11月に策定した「基本構想」をもとに、建物位置・間取り・構造・外観等の大枠の検討をおこなってきました。現在の検討内容をご紹介します。

1. 配置・外観のイメージ図(パース)



現時点での配置・外観イメージ図

2. 基本構想：歴史観光交流センターの3つの機能

機能1 情報発信：観光案内

- ◎町内外からの来訪者に対し、町内の歴史施設・観光施設を案内する
- 観光/歴史パンフレット配置
(デジタルサイネージ/タブレット等含む)
- 町内歴史/観光施設誘導
- 商店街誘導(町内事業者特産品紹介等)

機能2 地域連携：販売、休憩

- ◎町産物品・グッズを販売する
 - 町グッズ販売
 - 町6次化商品販売
 - 町内特産品販売(魅力発信中心)
- ◎カフェにて飲料等を提供する(対面 or 自動販売)
- 喫茶

機能3 歴史観光：常設展示+収蔵

- ◎町の歴史観光を中心とし、貴重品展示コーナー(美術品対応可のもの)を設ける
- 歴史展示(デジタル映像等含む)
- 観光スポット紹介展示
- 貴重品/美術品展示(旧種徳美術館より継承)
- ◎歴史等関係冊子を設置する

参考 旧伊達郡役所の機能

- ①旧伊達郡役所-基本機能：企画展示
 - ◎町の歴史展示(デジタル映像等含む)・観光スポット紹介展示を行う
- ②旧伊達郡役所-発展機能：魅力向上機能
「郡役所保存活用計画」策定検討の中で可否決定
(例) 写真撮影スポット設置

歴史観光交流センター平面図

旧郡役所撮影スポット

多目的室

【ゆったりと過ごせ、間仕切りで
多様な活用】

- ・パンフレット、大型サイネージ、ポスター(1・2)
- ・商店街/町産品等紹介(1・2)
- ・休憩所(飲食可)(2)
- ・講演会等(3)
- ・歴史案内人活用(3)
- ・企画展示(3)

案内カウンター/レジ

- 歴史・観光案内(1)
- 産品販売(2)
- 飲食販売(2)
- 歴史関係冊子販売(2)

正面玄関

展示室

- ・歴史観光展示(3)
- ・貴重品展示(3)

収蔵倉庫

- ・旧美術館収蔵品等の収納(3)

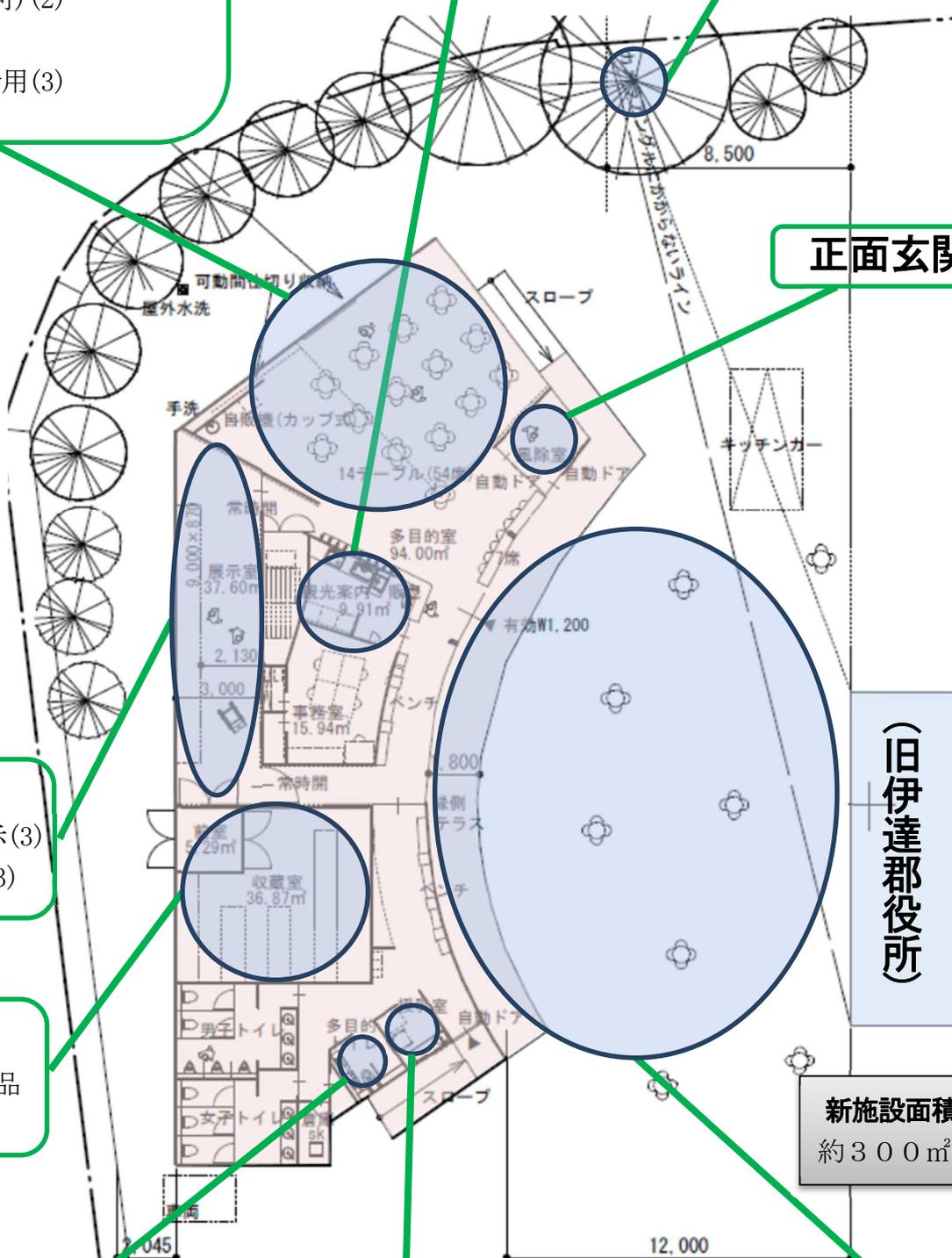
多機能トイレ

- ・車いす利用等に対応

授乳室

縁側テラス(屋内外)

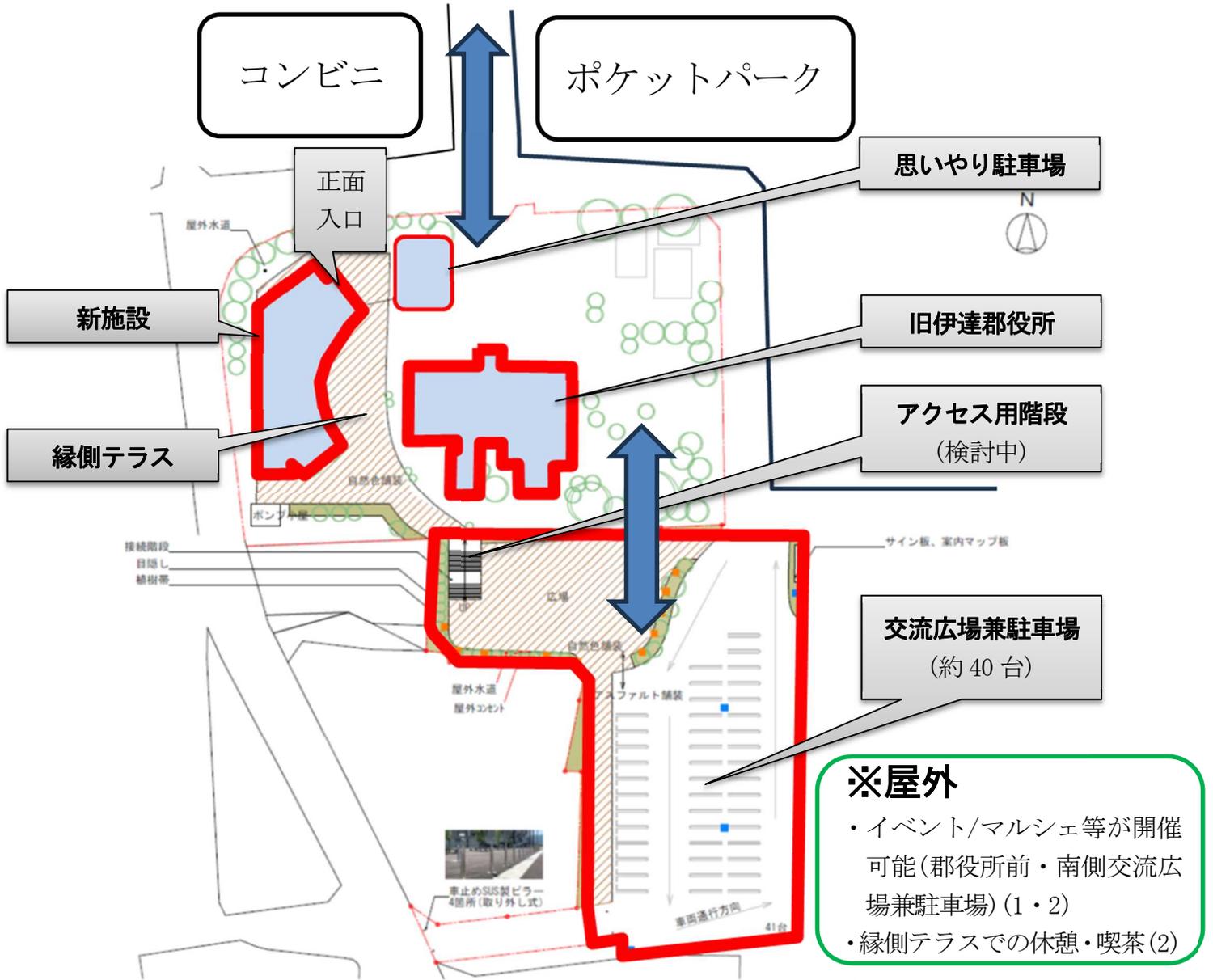
- ・休憩所(飲食可)(2)
- ・旧郡役所の眺望(2・3)



(旧伊達郡役所)

新施設面積
約300m²

屋外 ～駐車場・テラス～



4. 基本構想：歴史観光交流センターの6つの理念

理念1 来訪者にとって魅力があり気軽に訪れやすい建物

- ①アクセス性の確保
- ②使いやすさ・動線の配慮
- ③優しさ・親しみ・情報発信性の向上
- ④ユニバーサルデザインへの配慮

理念2 町の重層的な歴史・文化財を活かす建物

- ①歴史文化エリアにふさわしい景観
- ②(旧伊達郡役所等との)機能的連携

理念3 町内歴史観光資源と連携し、町への愛着を育む建物(町内周遊)

- ①各歴史観光資源・旧街道との連携
- ②中心市街地のにぎわい創出

理念4 災害に強い建物

- ①強靱な構造
- ②各種災害への対応

理念5 長寿命で設置・運営費用の少ない建物

- ①初期費用の低減
- ②維持費用の低減・長寿命化・環境配慮

理念6 敷地全体を有機的に連携した土地利用

- ①収蔵機能
- ②広場・駐車場機能

5. 構造・費用

構造については、基本構想の6つの理念にある「災害に強い建物」を目指し、耐震性の検討を進めています。

検討にあたっては、上記の他、旧伊達郡役所も含めた防火対策、眺望、耐震性確保の初期費用、維持管理費用、建築自由度、工事・許認可に要する期間等を考慮します。

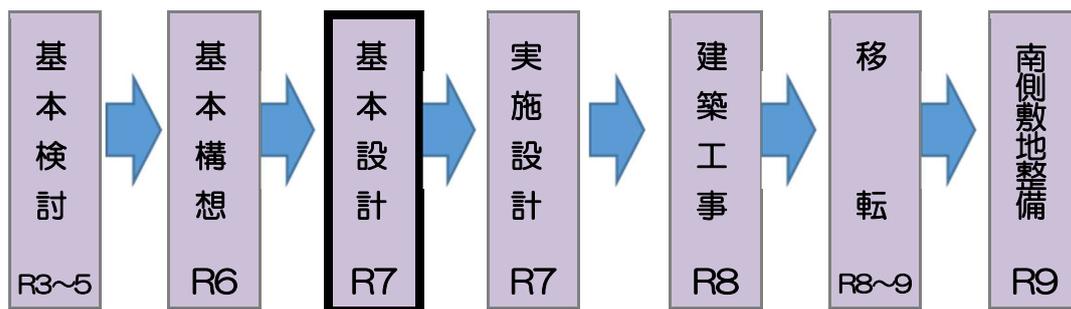
南側敷地等を含めた主要整備費用は、近年の事例をもとに、現時点で約4.5億円程度と想定しています。なお、今後も物価高騰や人件費上昇等による費用高騰に注意が必要であり、実施設計・建設の段階でも若干の変動が想定されます。引き続き、費用低減化に努めながら更なる検討を行っていきます。

財源については、国庫補助金(社会資本整備総合交付金)のほか、国による地方債への財政支援や、県森林環境交付金等の活用可能な補助金を利用していきます。

6. 経過・今後

整備検討については、令和3年に着手し、令和4年4月の第1回「歴史文化エリア」あり方検討委員会以降、本格的に検討を進め、令和6年11月に策定した「基本構想」に沿って、基本設計を進めてきました。

今年度後半は、基本設計(建物位置・間取り・構造・外観・設備等の大枠)を終え、実施設計(詳細設計)に進んでいきます。また、建物用地の準備に向け、敷地造成外構設計等も進めております。



◇これまでの経過

令和3年10月	検討作業開始
令和4年4月	第1回「歴史文化エリア」あり方検討委員会(有識者/町民)
令和5年5月	第1回桑折町都市再生整備計画(第2期)策定委員会(有識者/町民)
令和5年11月~12月	町民アンケート調査

令和6年5月~10月	旧種徳美術館解体工事
同11月	基本構想決定
同12月~令和7年3月	基本設計業務プロポーザル
令和7年2月~	文化財等事前協議
7月	基本設計案町民説明会

◇今後の予定

9月	基本設計完了
10月	実施設計開始
秋~	建築確認協議・申請

3月	実施設計完了
3月	敷地造成外構設計完了
3月頃	工事準備